

事務事業評価シート

平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業評価シート					平成 29 年度事後評価・決算		所管課	企画政策課		担当班	企画調整班	
事務事業名		コード	3100 企画事務費	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	☒ 主な事業		
			③ (地区懇談会)	一般		2	1	7		☐ 国土強靱化地域計画		
施策体系	基本施策	25	広報・広聴・情報公開の充実	根拠法令								
	施策の展開	48	広報広聴活動の推進	戦略事業	226	地区懇談会						
	施策の展開			戦略事業								
											☐ 新市建設計画	
											☐ 定住自立圏構想	
											☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		市長が市内各地区(旭地区2か所並びに海上地区、飯岡地区及び干潟地区それぞれ1か所の計5か所)に赴き、直接市民と話し合い地域の課題を伺うとともに、新しいまちづくりや地域の将来に対する意見・提案をいただく。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
平成17年の合併後、広く各地区の要望・意見等を聞きたいという意図で始まった。		新しいまちづくりや地域の将来に対する意見・提案というよりは、個別の要望等を発言する場となっている。	市民から休日開催についての要望が寄せられた。⇒H26年に実施。以降実施していない。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)		単位:千円
1. 需用費	1. 消耗品・燃料費	
2. 役務費	2. 通信運搬費	
3. 委託料	3. 半話通訳委託料	
4. 備品購入費	4. 備品購入費	
② 特定財源の内訳(29年度の決算)		単位:千円
1. 国庫支出金	0	
2. 都道府県支出金	0	
3. 地方債	0	
4. その他	0	

事業費	費目内訳	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
	1. 需用費	千円	3	13	0	1	30
	2. 役務費	千円	65	59	73	70	80
	3. 委託料	千円	15	15	16	15	20
	4. 備品購入費	千円	551	0	0	0	0
		千円					
	事業費計(A)	千円	634	87	89	86	130
	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	634	87	89	86	130

前年度増減理由	増減なし
---------	------

従事職員数	常時	2人	最大	11人	×	5日	=	延べ	55人
-------	----	----	----	-----	---	----	---	----	-----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 旭地区2箇所並びに海上地区、飯岡地区及び干潟地区のそれぞれ1箇所の計5か所で開催した。また、アンケートを実施し、参加者から開催回数等について意見をいただいた。		ア 開催回数(箇所数)	回	6	6	5	5	5
			イ						

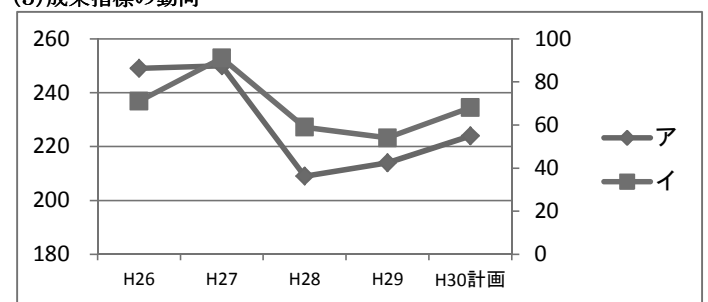
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象意図 市民 多くの市民が参加し、自らの要望・意見等を述べる。		ア 市民の参加人数	人	249	250	209	214	224
	対象意図		イ 要望・意見数(市民が積極的に市政に参画・協働する。)	件	71	91	59	54	68

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
小さい				

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①			
	②			
③				
	④⑤	(4)		
⑥				
	⑦⑧			
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項(30年度に取り組む主な事項について記載)
	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ 数値増=成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 数値増=成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	時期: H30.6 内容: 29年度に実施したアンケート結果を市長へ報告するとともに、今後の地区懇談会の開催及び会場等について協議する。
	比較	成果動向	今後の方向性
	25年度 26年度 26年度 27年度 27年度 28年度 28年度 29年度 29年度 30計画 30計画	ア Δ17 イ 7 1 20 Δ41 Δ32 5 Δ5 10 14	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☒ その他(市民協議の結果による)
			H30.6 過去の実績をもとに開催の有無を市長協議。開催することになった場合、開催場所、開催回数、開催内容、開催時間等について協議する。会場を一箇所に集約する案も出ているため合わせて検討する。